

2014

紙パックリサイクル

年次報告書

Paper carton recycling Annual report



捨てるよりリサイクルが
気持ちいい。



全国牛乳容器環境協議会

「紙パックリサイクル年次報告書2014」 発行にあたって

日ごろは全国牛乳容器環境協議会の活動に、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
紙面からで恐縮ではありますが、厚く御礼申し上げます。

さて、2011年の東日本大震災からの復興も原発事故後の修復も継続的な国家課題となっているなかで、わたしたちを取巻く環境は昨年大きく揺れ動きました。しかし、日本経済に関しましては先行きへの期待感が強まってきていると思います。

また、10月下旬には世界の酪農・乳業者が集う「IDF（国際酪農連盟）ワールドデューリーサミット2013」が横浜で開催、酪農・乳業を取り巻く環境問題についても議論されるなど、成功裏に幕を閉じました。

2008年に完全施行された改正容器包装リサイクル法は、現在見直しに向け検討が進められていますが、見直しの内容如何にかかわらず、わたしたちは「一人ひとりが環境を考え行動していく社会」を目指して、紙パックリサイクルの普及・拡大に向けた取組などを続けていかなければなりません。

紙パックリサイクルのための紙パック回収率は、調査開始以来順調に向上を続けてまいりましたが、ここ数年は伸び悩みとなり2011年度は初めて回収率が前年を下回るようになりました。

東日本大震災の影響もありましたが、わたしたちは紙パック回収率の低下が紙パックリサイクル活動の停滞につながるという危機感を持ちました。これを機に活動を強化すべく、従来のイベント分科会と広報分科会に加え2012年度に支部組織委員会と総務委員会という二つの委員会を新設し、四つの委員会といたしました。

この新しい委員会の活動は地域支援などを通して、紙パックリサイクルの普及・拡大を一層促進するためのものであり、新たな取組も開始いたしました。

これらの活動の効果もあり、2012年度の回収率は前年との比較で+1.3ポイントの44.2%となりました。

また、2013年度において、支部組織委員会では「クイズパネル」や「啓発トイレトペーパー」を新規で製作し、



全国牛乳容器環境協議会

会 長

山 登 正 夫

地域のステークホルダーのみなさまに活用いただくことなど、新しい取組を進めてまいりました。

総務委員会では市町村の環境担当部署を訪問し、より効果的な広報活動への意見交換や、啓発のための協働の取組などを行いました。

また、紙パック回収ボックスは当初目標の20,000か所への配布を完了し、一旦は配布休止としましたが、新たに改良型を製作し配布を再開いたしました。

あわせて各種調査を行い、より効率的な紙パックリサイクル促進の取組検討や、より正確な回収率の捕捉などを進めました。

その他の取組などの紹介を含め、1年間の活動内容として「紙パックリサイクル年次報告書2014」をここにまとめましたので、是非、お目通しいただき、ご意見・ご指導をお寄せいただければ幸いです。

2015年度に紙パック回収率50%以上を達成するために、市民団体の全国牛乳パックの再利用を考える連絡会様をはじめとしたさまざまなステークホルダーのみなさまとの協働を進めてまいります。会員のみなさまにおかれましても、今までもまして更なるお力添えをよろしくお願いいたします。

紙パック回収率向上のためのアクションプラン

全国牛乳容器環境協議会（以下 容環協）では、「2015年度に回収率50%以上」を目標として掲げ、紙パックの回収率・リサイクル率向上を目指しております。
具体的な取組は以下の通りです。

《目標》
紙パック回収率
2015年度 **50%以上**

- 自然の恵みを大切に、次世代の子どもたちが安心して暮らせる地球環境を継続的に維持していくため、紙パックリサイクルに係るすべての関係者との連携を強化し、回収率向上のための自主的活動を促進します。
- 再生可能な資源である紙パックを良質な資源として有効に活用することにより、資源の節約と環境負荷の削減を図ります。紙パックのリサイクルを通して資源の大切さを伝える活動を展開します。

【主な取組】

- 1.地域の回収力を高める場づくり
- ①紙パックリサイクル促進地域会議、牛乳パックリサイクル講習会の開催(全国牛乳パックの再利用を考える連絡会(以下 全国パック連)と共催)
- ②関係主体間の協議の場として意見交換会の開催
- ③紙パック回収活動の担い手の発掘(地域活動のリーダーとなる担い手の発掘)
- ④環境イベントへの出展(エコプロダクツ展、エコライフ・フェアなど)
- ⑤環の縁結びフォーラム(全国パック連主催)への協賛

CONTENTS

活動トピックス

「プラン2015」	2
環の縁結びフォーラム	3
紙パックリサイクル促進地域会議	4
リサイクル促進意見交換会	6
牛乳パックリサイクル講習会	7
牛乳パックリサイクル出前授業	8
エコライフ・フェア／エコプロダクツ2013	10
牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール	11
容環協の発行物	12
その他の活動	13

活動報告ダイジェスト

2012年度 紙パック回収率	14
2012年度 紙パックマテリアルフロー	16

2.家庭の紙パックの回収促進

- ①回収のきっかけづくり
- ②1000ml以外(500ml、200mlなど)の紙パック回収促進
- ③紙パック回収ボックスの提供による回収拠点づくり(全国パック連と協働)
- ④環境メッセージ広告を紙パック商品に掲載する環境キャンペーンの実施(供給事業者との協働)
- ⑤工場見学者に対する紙パックリサイクル啓発の実施

3.屋外や店舗で飲まれる紙パックの回収促進

- ①職場や高校・大学などでの紙パック回収の検討
- ②外食系店舗などで使われる紙パックの回収支援(全国パック連と協働)

4.教育や学習の場における活動の促進

- ①小学校での牛乳パックリサイクル出前授業の開催(全国パック連と共催)
- ②学校給食用牛乳紙パックのリサイクル推進
- ③DVD「牛乳パックン探検隊」の制作と配付(全国パック連と協働)
- ④牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクールへの協賛
- 5.リサイクルに向けたコミュニケーションの充実

- ①「牛乳パックリサイクル事例集」の活用(全国パック連と協働)

- ②飲料用紙容器リサイクルの現状と動向に関する基本調査の実施

- ③市民のリサイクル意識・行動にかかわるWeb調査の実施

- ④ホームページ(容環協HP・牛乳パックン探検隊HP)の充実

- ⑤紙パックリサイクルを通じた国際的連携

2013年度活動報告

小売事業者のリサイクル状況	18
福祉作業所の回収状況	19
市町村回収・集団回収の状況	20
学校のリサイクル状況	22
再生紙メーカーのリサイクル状況	23

紙パックのリサイクル学

紙パックを取り巻くダブル循環 ^{ループ}	24
-------------------------------	----

国際的連携

EUの取組紹介	26
---------	----

全国牛乳容器環境協議会の概要

あゆみ	27
会員一覧	29



「プラン2015」 3年目取組状況

わ 環の縁結びフォーラム

「プラン2015」 飲料用紙パックリサイクル行動計画 ～3年目取組報告～

アクションプランに基づいて、4つの委員会で活動推進してきました。

1.総務委員会

(1)回収率50%以上にに向けて

①紙パックリサイクルの基本調査ならびにWeb調査を実施し、課題抽出に取り組みました。
回収方法の多様化により、基本調査では把握できていなかった再生紙メーカーでの直接回収量をアンケート調査結果に基づき回収量に加えました。

②紙パックリサイクル促進地域会議の開催

今回は埼玉県、大阪府内の自治体を訪問し、紙パック回収の事前調査と市民へのリサイクル啓発状況の把握に努め、さいたま市と大阪市それぞれで地域会議を開催しました。その結果、自治体によって分別告知方法の違いや説明不足、記載間違いなどが抽出されました。

③改良型紙パック回収ボックスの投入

紙パックの投入口や取り出し方法を改良し、目に見えるきっかけづくりとして配付を再開し、更に狭い事務所や店舗での展開を考慮した小型化を開発中です。

(2)容環協年度予算執行状況の把握と規約・規則の改定案作成に取り組みました。

2.広報委員会

(1)普及啓発事業

①ホームページの拡充

訪問者数の減少傾向の歯止め対策として解析ツールを導入。訪問キーワードなどの現状を分析しました。

②啓発ツールの改訂

子ども向け冊子「牛乳パックのおはなし」の増刷に際し、内容の一部見直しと修正により、改訂第2版を発行。

③年次報告書2014の企画・編集に取り組みました。

(2)回収促進事業

①全国20事例集(第3版)は取材後の状況変化もあり、再取材を含めた刷新を図ることにしました。

②紙パックリサイクルを啓発・促進する環境メッセージとして、従来のものとリサイクルを強調し小さな表示面積にも対応できるデザインを会員へ告知しました。

3.イベント委員会

(1)紙パックリサイクルを活用した環境教育と普及啓発

①全国パック連と協働して、自治体他5か所でリサイクル講習会、小学校7校で出前授業に取り組みました。

②エコライフ・フェア、エコプロダクツ川越、エコプロダクツ2013など地域環境フェアにも出展しました。

(2)牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクールの企画

年々減少傾向にある応募数に対して、従来の応募要領配布先の他に、地域牛乳協会や地域教育委員会にも協力を要請し、新規ルート開拓に努めました。

4.支部組織委員会

(1)紙パックをめぐる諸活動の担い手の発掘と支援

①地域環境イベントなどの活性化を目的にリサイクル啓発用クイズパネル製作の他、啓発ツールや冊子類を配付し、参加拡大と支援に努めました。

②地域企業・サポーターの活動状況を即応性の高いメールマガジンの発行により、情報交流に取り組みました。

各委員会の活動は、月次運営委員会で報告され、成果確認や必要に応じて活動内容が修正され、活発な活動を目指しています。

国、各種団体、関連企業などが参加し、 循環型社会の形成に向けての取組紹介 や事例報告を行いました。

【環の縁結びフォーラム】

10月22日、東京中野区の中野サンプラザで全国パック連主催、容環協協賛、日本乳業協会後援による第7回「環の縁結びフォーラム」が開催され、「容器包装のリサイクルの効果と課題」をテーマに、国、地方自治体、関連団体、企業などから70名の方々が参加しました。

主催者挨拶として全国パック連・平井代表より、環の縁結びフォーラム開催の経緯、関係者との交流を培ってきた全国パック連の役割、商業施設での新たなキャンペーン取組などの紹介がありました。また来賓として、容環協・山登会長の挨拶では、容り法の見直しの中で紙パックの再商品化義務免除の継続や現行での役割分担の堅持などについて、容環協からの提言として説明がありました。

特別講演では、韓国酪農・乳加工技術院の李理事長が、「資源の節約とリサイクル促進に関する法律改正、その背景と主たる内容」と題し、10年を経過した韓国の生産者責任リサイクル制度の改革について説明され、その後、活発な質疑応答がなされました。

事例報告では、全国パック連より、「牛乳パックリサイクルにおける福祉作業所の実態調査」中間報告として、全国530か所の福祉施設では、牛乳パックの回収作業や

製品づくりなどが施設の仕事になっていること、大手スーパーでの独自リサイクルにより使用済み紙パックが入手しづらくなってきている事例もあるなどの調査結果について、中間報告がありました。

相模原市からは、容器包装リサイクルの課題として、ベール品質の維持向上、市況による引き渡し価格の下落への歯止めなどが挙げられ、市民へのさらなる周知と協力依頼のため、出前授業など、地道な努力を続けることが効果的であることなどの報告がありました。

紙製容器包装リサイクル推進協議会からは、「紙製容器包装の3Rについて」と題し、紙の識別マーク付け義務や古紙ルートと容リルートで資源化されていること、容リルートでの再商品化では特定事業者が指定法人である容リ協会に再商品化を委託することなどの説明がありました。また、市区への回収量のアンケート調査、回収した紙製容器包装の組成分析などの活動紹介もあり、容り法見直しに関する提言内容で締めくくられました。

最後に、環境省リサイクル推進室より、「循環型社会の形成に向けて～容器包装リサイクル法の施行状況について」と題し、容り法見直しの年にあたり審議会で報告した容り法の施行状況、取組状況などを講演いただき、改正の趣旨として、3Rの考え方をより濃く反映すべきではないかということ、今後、審議会で関係者からのヒアリングが順次実施されることなどの説明がありました。

それぞれ充実した内容で進行し、続く懇親会でも情報交換が熱心に行われ、今年も実りあるフォーラムとなりました。



主催者挨拶:全国パック連 平井代表



特別講演:韓国酪農・乳加工技術院 李 理事長





紙パックリサイクル促進地域会議

各地域での情報交換を通じて、
リサイクルの促進を図る
地域会議を開催。

「紙パックリサイクル促進地域会議」は、地域ごとの現状と課題を把握することで、紙パックリサイクルの拡大を図ることを目的としています。2013年は埼玉・大阪の2地域で開催しました。

両会議とも、国、自治体、市民団体や関係事業者など多彩なメンバーの参加があり、それぞれの活動報告や問題提起がされています。この会議の中で、参加者が相互に理解を深め、情報交換をすることで、紙パックのリサイクルをよりいっそう推進していくことを確認しました。

紙パックリサイクル促進地域会議 in 埼玉／さいたま市

◆開催日 2013年7月5日
◆参加者 農林水産省、環境省、自治体、市民団体、乳業メーカー、製紙・容器メーカー、回収事業者など計52名

【主な報告や問題提起】

- ご来賓挨拶で農林水産省の方からは、2010年度の紙パックリサイクル回収率の目標値は50%だったが、実績は43.6%と目標に達していなかった。今後もさらに高めの目標を目指してほしいとのお話をいただきました。
- 容環協からは、2015年度の紙パック回収率50%以上を目標に活動を進めている自主行動計画「PLAN2015」の5つの柱として、①地域の回収力を高める場づくり、②家庭の紙パック回収促進、③屋外・店舗での紙パック回収促進、④教育・学習の場における活動の促進、⑤リサイクルに向けたコミュニケーションの充実、を掲げており、集めるだけでなく再生品の利用促進にも努めていきたいとの取組報告を行いました。

- 自治体からは、回収した紙パックがどのように再利用されるかを子どもたちに伝えることにより、回収率の向上を図る必要性などが報告されました。
- 全国パック連からは、紙パックの現状について、再生して使う側の製紙メーカーの処理能力に対して、回収率が非常に低く、良質な資源である紙パックの6割近くが再生利用されていないという、もったいない状況であることが報告されました。
- 市民団体からは、古紙利用の基本は分別であり、その啓発活動を進めているとの報告がありました。
- 古紙回収業者・古紙問屋からは、回収現場での持ち去りや、リサイクルルートの複雑化による回収の停滞などの問題の指摘がありました。
- 製紙メーカーからは、現在、原料となる古紙の50%は輸入に頼っているため、今後も国内での回収に尽力したいとの報告がありました。

今後も更なる分別の徹底、子どもたちへの啓発活動の強化、運動自体の再構築の必要性などが窺える地域会議となりました。



地域会議 in 埼玉の様子

紙パックリサイクル促進地域会議 in 大阪／大阪市

◆開催日 2013年11月13日
◆参加者 農林水産省近畿農政局、自治体、市民団体、調査会社、事業者など計50名

【主な報告や問題提起】

- 近畿農政局からは「飲料用紙容器は容り法施行前から有価物。50%の目標に向けて、関係する方々の協力で、是非とも達成してほしい」とのご挨拶がありました。
- 調査会社での消費者Web調査の結果から、再活用している家庭や他の古紙に排出している人が多いこと、ごみに出してしまう理由として手間が掛かることや少量意識があるとの報告がありました。
- 容環協からは2011年度紙パック回収率が42.9%、2015年度に回収率50%以上達成への「プラン2015」を推進中であるとの説明がありました。
- 大阪市では10月から家庭ごみでの古紙の分別収集を市内全域に拡大したこと、市民啓発として紙パック工作教室や紙すき交流センターの協力などで市民啓発を実施していると状況報告がありました。
- 公益財団法人千里リサイクルプラザでは、市民研究員による紙すき教室や小学校対象の出前授業を実施しており、楽しむだけでなく、3Rの重要性、紙パックの品質の良さや自然環境における大切な役割をもっていることなども教えているとのことでした。
- 全国パック連からは、「紙パックのリサイクルは他の容器（びん・缶・ペットボトル）に比べて自治体によるコミュニ



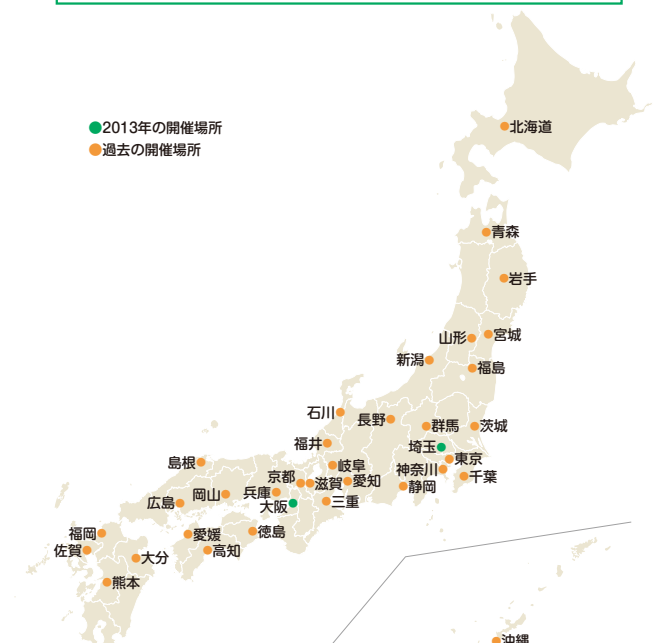
地域会議 in 大阪の様子

ケーションの優先度が最近落ちて来ているのでは？」と問題提起がありました。また、リサイクル啓発活動をショッピングモールやスーパーマーケットなどにも広げ、紙すき実演は有効な啓発手段であるとの報告がありました。

- 紙すき交流センターからは、1日に5,000枚程の牛乳・酒パックを原料とした紙すきが障がい者にとっても有意義な仕事になっている。紙すき製品の販売アイデアなどの提案を頂きたいとの報告がありました。
- 関西ミルクロードの会より、主に授産施設を中心とした会での牛乳パック回収量が、2011年度709トン、2012年度713トンと実績報告がありました。
- 古紙回収業者・古紙問屋からは、紙パックは他の古紙と比べて少量で、洗って開いて乾かす手間がかかるため、熱意を持った取組が必要との意見がありました。
- 再生紙会社からは、最近は紙パック回収量が減少しているとの印象と、外食産業などとの協力や消費者への啓発を高めていく必要があるとの意見がありました。

授産施設でのリサイクル活躍が盛んな地域への応援と効率的なリサイクル啓発活動の強化が窺えた地域会議となりました。

地域会議の開催場所





リサイクル促進意見交換会

関係団体が多数集い、
リサイクルの現状と課題を
話し合う貴重な場に。

【創立20周年記念シンポジウム】2月7日

1992年の発足から20周年を迎えた容環協が記念シンポジウムを開催し、国、自治体、NPO、関係業者、OB、市民の皆様など120名以上にご参加いただき、「今後の牛乳紙パックのリサイクルをどうするか」のテーマを中心に、基調講演、事例報告、調査報告、パネルディスカッションなどを行いました。

最初に容環協・山登会長の挨拶として、昨年度は紙パックの回収調査開始以来初めて回収率低下となったが、自主行動計画『プラン2015』のもと、2015年度の回収率50%以上を目標に活動を進めていることが報告され、目標達成に向けて各関係者への引き続きの支援・協力のお願がありました。

環境省の方からは、「循環基本計画の見直しと容器包装リサイクル法について」と題した基調講演の中で、5年を経過した容リ法のこれまでの運用と評価、また今後の改正・見直しでの論点としてリデュース・リユースの促進、分別収集・選別保管、市町村と事業者の責任範囲の検討などで、関係省庁は関係業界との意見交換をしながら取組を進めていきたいとの見解がありました。

全国パック連・平井代表からは、民間と事業者の連携という他の業界にはあまりないスタイルの良い部分を

継続し、今後も容環協とパートナーとして発展していきたいとの報告がありました。

容環協からは、2011年度の回収率低下の原因として、東日本大震災の影響のほか、大都市を含めて紙パックを雑がみなどとして回収する市町村が増えていることが考えられること、また北欧視察で、森林の管理実態として育苗・植樹そして育成まで組織的に管理実践され、森林面積が増加傾向にあることを見聞きし、紙パックの原紙供給について持続可能性が確認できたとの報告を行いました。さらに、自主行動計画『プラン2015』のための容環協新組織体制について、発表を行いました。

後半のパネルディスカッションでは、自治体担当者や関連業界団体、製紙会社などから、それぞれの取組事例が報告された後、資源としての紙パック独特の特徴、「洗って、開いて、乾かして」と手間がかかるが、ニーズは非常に高いという点をどのように伝えるか、また回収・再生の流れのシステムづくりがポイントであることなどが意見交換されました。



主催者挨拶：容環協 山登会長



パネルディスカッション、パネラーの方々

牛乳パックリサイクル講習会

現状を知っていただき、
実際のリサイクルを体験する
楽しい講習会です。

紙パックリサイクルの現状や、紙の原料となる森林の管理状況を説明するとともに、回収ルールの体験を通して牛乳パックの回収に関心を持っていただくため、「牛乳パックリサイクル講習会」を毎年開催しています。2013年は、下記の5か所で開催しました。

【中野区】7月27日

子どもたちや保護者を対象としたイベント『ZEROからはじめようエコプロジェクト』内で開催された講習会には、小学生20名、保護者13名の方が参加。牛乳パックの手開き体験では、未経験の方が悪戦苦闘されていましたが、体験することの大切さを再認識しました。

【相模原市】7月31日

相模原市「リサイクルスクエア」にて、容環協と全国パック連が「環境講義と紙すき体験」を、市の環境経済局が「ごみ収集体験」を受け持つ2部構成で開催された「親子リサイクル体験教室」。紙すき体験の後、実際に、ごみ収集車への同乗・排出などを体験することができました。



森林管理やリサイクルの講義風景（中野区）

【西東京市】8月7日

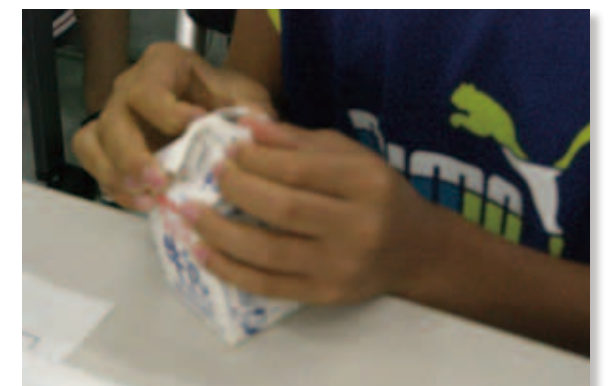
西東京市では、今年で5回目の講習会がエコプラザ西東京のイベント「夏休み自由研究2013」の一環として小学4～6年生を対象に行われ、児童36名と保護者4名が参加。お目当ての手すきはがきづくりでは、全員が「マイ手すきはがき」を完成させました。

【さいたま市】9月14日

昨年12月以来となった浦和区の針ヶ谷小学校での講習会は、前回同様、容環協専門委員1名、OB2名、協力者1名の計4名体制で開催。さいたま市放課後子ども教室の方々にもご協力いただき、親子合わせて10名の参加者に理解を深めていただきました。

【松江市】10月9日

出前授業に赴いた鹿島東小学校は、山陰沖を通過した台風24号の影響で当日は臨時休校となってしまいました。小学校の計らいで、当日出勤の先生と近隣の保育園の保育士の方々にお集まりいただき、今後の環境教育に役立てればと先生方への「リサイクル講習会」となりました。



牛乳パック手開き奮闘中！（西東京市）



牛乳パックリサイクル出前授業

子どもたちの学びの場に。
毎年好評の「出前授業」を
全国の小学校で開催。

2013年も全国の小学校で、全国パック連と連携して「牛乳パックリサイクル出前授業」を開催しました。

【神奈川県 横浜市立日枝小学校】1月22日

日枝小学校での出前授業は、4年1組「ともだちの活動」の一環として、児童32名、保護者21名が参加されました。同校で行われている「総合活動」での4年1組の年間テーマは「めざせ!紙好き名人!!」。すでに紙すき体験のある児童たちは、あらためて手すきはがきづくりで一度にすくうパルプの量などを工夫して、とてもきれいな出来栄でした。

【栃木県 茂木町立茂木小学校】5月31日

昨年11月に1年生を対象に出前授業を行った茂木小。今年は5年生50名と先生3名が参加され、皆、熱心に学んでいました。また、「紙パックリサイクルほんとはなし」を町内に配付していただいている茂木町環境課の取材もありました。後日、今回受講した5年生が、4年生に学んだ内容を伝える企画が進行中との嬉しいお知らせが届きました。



手すきはがきが完成! (横浜市立日枝小学校)

【広島県 広島市立牛田新町小学校】6月12日

神田山の中腹に位置する牛田新町小学校の出前授業は、小学6年生2クラス61名を対象に行い、多くの保護者の方も参観されました。手すきはがきづくりでは、途中アイロンの電源が切れるハプニングもありましたが、子どもたちは出来上がったハガキを見せ合って楽しんでいました。新しく制作した冊子「もったいないものがたり」も配付しました。

【埼玉県 川口市立戸塚南小学校】9月30日

埼玉県川口市で行われている「環境出前授業」。今回は「リサイクルの話」をテーマに、アルミ缶リサイクル協会、スチール缶リサイクル協会、容環協が、小学4年生4クラス(約160名)に講義を行いました。講義ではDVD「牛乳パックン探検隊」視聴の前後にクイズを出題。日頃の学習成果から、正解率はとても高くなりました。



「リサイクルの話」講義の様子 (茂木町立茂木小学校)

【栃木県 芳賀町立芳賀南小学校】11月9日

芳賀南小学校の子どもたちはとても元気で、自然いっぱいの環境のもと、スポーツや美術・音楽の分野でも活躍しています。出前授業は土曜日にもかかわらず、4年生の児童40名と多数の保護者の方々、2名の先生方が参加。紙すき体験では、材料になるドロドロになった紙パックパルプに最初は恐る恐るだった子どもたちも、指導員のもと、手すきはがきをしっかり完成させました。

【富山県 富山市立新庄小学校】11月19日

「おはようございます!」と子どもたちの元気のいい挨拶で迎えられた新庄小学校。給食の牛乳パックも洗って乾かし、リサイクルしているそうです。出前授業は小学4年生2クラス71名(内3名欠席)が出席、クイズを交えた授業の後、手すきはがきづくりを体験してもらいました。約2時間弱の出前授業でしたが、地元新聞社・ケーブルテレビ局の取材や給食の牛乳を供給しているとやまアルペン乳業株式会社の方の参加も得て、楽しい授業となりました。



牛乳パック洗って・乾かして! (富山市立新庄小学校)

【香川県 三豊市立松崎小学校】11月28日

JR詫間駅近くの小高い丘にある松崎小学校は、現代的な鉄筋校舎ですが、明治初期から続く伝統があります。出前授業は4年生1クラス29名を対象に、三豊市役所から2名、また給食の牛乳を納める四国明治乳業株式会社の方も参加され、大勢の大人に囲まれた中で行われましたが、子どもたちは物怖じせず、のびのびと授業を受けていました。



出前授業「御礼の手紙をいただきました (広島市立牛田新町小)



みんな作品を持って、「ハイ、チーズ!」(三豊市立松崎小学校)

エコライフ・フェア／エコプロダクツ2013

牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール



リサイクルの大切さを啓発。
紙パックの手開きや
紙すきを体験しました。

【エコライフ・フェア2013】6月1日、2日

1990年以来、環境省が中心となり、東京・渋谷の代々木公園を会場に、環境の日(6月5日)前後に開催されているエコライフ・フェア。今年は全体の来場者数が約78,000人と昨年を上回り、容環協も全国パック連との協働で7回目の出展を行って、約460人のお客様をお迎えしました。

展示ブースでは、市民団体“たんぱぼ”の協力を得て、手すきはがきや紙パックを使った小物づくりを実演し、順番待ちをお願いするほど盛況でした。また、特設の大型テントでは、合計4回、約40名の方々に、牛乳を飲んでいただきながらワークショップを実施して、手開きをしていただいた紙パックと、紙パックを再生原料にしたボックスティッシュと交換し、リサイクルを実感していただきました。



展示ブースにて、環境パネル説明



特設テントにて、手開き実演風景

連日盛況の容環協ブース。
国内最大級の環境展に
出展しました。

【エコプロダクツ2013】12月12日～14日

1999年から開催されている「エコプロダクツ展」は国内最大級の環境展示会であり、今回で15回目の開催となりました。容環協は牛乳パック再利用マーク普及促進協議会と共同出展し、今年で連続10回目という「節目」の出展となりました。

展示会の来場者数は169,076人と昨年を割り込んでしまいましたが、容環協ブースのイベント参加者は昨年の1,502人から1,722人と増えています。ワークショップ「牛乳を飲んで紙パック手開き体験」、恒例となった全国パック連の協力による「手すきはがきづくり体験」、環境パネルラリー「『もったいないものがたり』による環境・リサイクルの啓発」などのイベントを行い、連日来場者で賑わいました。



ワークショップ風景



リサイクル啓発コーナー

秦 まりなさんの作品
「つまみ細工のかんざし」が
みごと最優秀賞に。

13回目を迎えた「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール2013」には全国の小学校より2,856作品の応募がありました。いずれも秀作ぞろいの中、厳正な審査の結果、受賞作品7点が選ばれました。おめでとうございます。



最優秀賞作品「つまみ細工のかんざし」
秦 まりなさん

《受賞作品》

- ◆最優秀賞 『つまみ細工のかんざし』
秦 まりなさん(和歌山市立三田小学校6年)
- ◆優秀賞 『パックのブック』
三浦 舞子さん(郡上市立川合小学校1年)
- ◆優秀賞 『エコエプロン』
南部 綾華さん(浦谷町立浦谷第一小学校5年)
- ◆全国小中学校環境教育研究会賞
『牛乳パックじょうろ』
野場 千裕さん(川口市立本町小学校2年)
- ◆全国牛乳パックの再利用を考える連絡会賞
『花がさ』
鈴木 廉二さん(山形市立桜田小学校2年)
- ◆全国牛乳容器環境協議会賞
『くじゃくのちょきんばこ』
中澤 花衣来さん(川口市立朝日西小学校1年)
- ◆日本乳業協会賞 『幸せ(四合わせ)の青い鳥』
竹下 義峻さん(さいたま市立道祖土小学校6年)

最優秀賞は和歌山県の小学校6年生秦さんの作品「つまみ細工のかんざし」です。自らの十三参りの行事に着想を得て、伝統的なかんざし製法に牛乳パックの特性を上手に組み合わせた精緻な作品です。秦さんは「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール2012」の全国牛乳容器環境協議会賞に続き、今回見事最優秀賞に輝きました。

受賞作の表彰式は「エコプロダクツ2013」の容環協ブースにて行い、審査委員長の東京国立博物館・銭谷館長、実行委員長の容環協・山登会長はじめ審査委員の方々から、受賞者にそれぞれ賞状・盾・副賞が贈られました。

受賞作品は容環協の小学生向けホームページ「牛乳パックン探検隊」で紹介されています。



最優秀賞受賞の秦 まりなさん



エコプロダクツ2013で行われた表彰式



容環協の発行物

紙パックの特性やリサイクルを
わかりやすく学べるDVDや
リーフレットを提供しています。

DVD「牛乳パックン探検隊」

容環協の小学生向けホームページ「牛乳パックン探検隊」の内容の詳細版として、子どもたちが環境を考え、自ら行動することの大切さを学ぶ教材となるDVD「牛乳パックン探検隊」を準備しています。お申し込みいただいた学校・団体には無料配布しています。



DVD「牛乳パックン探検隊」

「紙パックリサイクルほんとのななし」

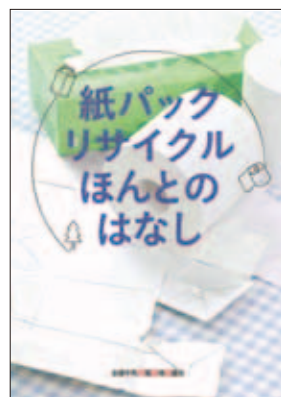
紙パックのリサイクル向上のための活動を進める中で日頃よく質問されることが疑問に思われていることを中心に、紙パックが環境にとってとてもやさしいこと、他の紙製品と分別しないとせっかくの資源が有効に活用できなくなってしまうことなどを誰にでもわかりやすいようにイラストを多くして解説しています。

「もったいないものがたり」

「紙パックリサイクルほんとのななし」を牛乳パックンのイラストで親しみやすく編集した、子ども向けのリーフレットを作成しました。



「もったいないものがたり」



「紙パックリサイクルほんとのななし」

容環協ではリサイクルから
地球環境を考えられるように各種
の刊行物を発刊しています。

書籍「紙パック宣言」

紙パックの特性やリサイクル活動などを詳しく解説した書籍で、リサイクルの意識を深めながら地球の未来へ向けた提言となるような内容となっています。

著者に(株)エコプスの猪瀬代表、全国パック連の平井代表のほか、容環協からも7名参画しました。

「牛乳パックリサイクル全国20事例集」第3集

紙パックの回収システムは店頭回収、市町村回収、集団回収の3ルートが確立されていますが、分別回収には地域への理解や工夫が必要です。この事例集は全国の市民団体、自治体、事業者各分野での実践事例を紹介してリサイクルのさまざまなシーンでの課題解決のヒントとなることを目的として編集しています。



書籍「紙パック宣言」
日本評論社



第3集となった「全国20事例集」

その他の活動

全国パック連と協働で
商業施設との連携にも
取り組みました。

【商業施設「アリオ橋本」との連携】

3月9日、「相模原ごみDE71大作戦」の一環として、市内の商業施設「アリオ橋本」でワークショップ「牛乳パックでグリーティングカードをつくろう!」を開催。120名を超える参加者の中、中学生たちが作ったホワイトデー用のハート入りカードが印象的でした。



相模原市ごみ分別キャラクター「レモンちゃん」&「シンゲンジャー」

【商業施設「ララガーデン長町」との連携】

9月22日、23日の両日、仙台市ララガーデン長町の「ララ秋の文化祭」において、東北初の紙パックリサイクル促進キャンペーンとして「紙すき体験教室」を開催。多くの親子連れの方々にご参加いただき、「紙パックリサイクル交換会」「紙パックアート展」「エコリサイクルパネル展」も行われ、大変賑やかなイベントとなりました。



紙パックアート展「未来都市長町」

回収ボックスが新しくなりました。

【「紙パック回収ボックス」の改良による活動推進】

容環協は全国パック連とともに紙パックの回収にご協力いただく方と回収拠点の拡大のために、扱いやすい回収ボックスを作成し、無料配布する活動を2001年より進めています。

全国で牛乳パックの回収を進めていただく回収団体の皆様のご支援・ご協力により、2013年3月末時点で20,700か所にまで達しました。

この度、皆様からいただいた声を参考に、回収拠点でしっかり回収出来るよう、より使い勝手の良い回収ボックスに見直し、2013年4月から配布受付を再開しました。改良した点として、本体と上部蓋の2パーツ構造にすることで、取り出しやすく、あふれにくいものに工夫しました。今後も、紙パック回収率の向上のための活動を進めていきます。

申し込み用紙は容環協ホームページの「紙パック回収ボックス」に掲載しています。



容環協HP <http://www.yokankyo.jp>

牛乳パックン探検隊HP <http://www.packun.jp>